

ほっぺん

163 温泉旅行



薩摩郷句

兼題「餅」

都会帰省い杵ん餅搗く要請まれつ
 (唱) 杵と臼どん 準備つ孫ご待つ 上村 牛歩

無口じやが餅ちゆ食た程ん爺ん顔
 (唱) 言葉はいらん 顔が物言つ 西ノ園ひらり

誕生祝餅踏み騒動な爺と婆
 (唱) あらほらそちら 家族中が大騒動 諸木 小春

餅搗きな老夫婦しつ加勢ん来つ
 (唱) 鼠んどん家も 良か正月ちなつ 北村 虎生

餅搗きな老夫婦しつ加勢ん来つ
 (唱) 枯れ木も山ん 賑わいじやんが 二見愚楽満

大崎短歌会

兼題「箸」

孫子たち帰郷の度に競い使う愛らしい箸五組のあり
 行騰 泰子

「またひだり」使ひ初めし児の箸を右手に直しくれたり亡母は
 中崎ハナエ

祝ひ箸の袋に夫と娘と吾の名を墨書せしあの大晦日
 原田 葉子

六月振り帰省の子らとのそれぞれに箸並べ置き朝餉の支度
 近藤しづ子

お土産の長寿の箸は掌になじみ今朝の味噌汁しみじみ旨し
 長重 悦子

大崎俳句会

初霜や眩しき朝日鳥一羽
 中崎ハナエ

小春日に笛の音高し地鎮祭
 桑原 正樹

醉芙蓉池内淳子逝きにけり
 溝口 稔

霧島路ノートに挿む寒紅葉
 三浦 倫子

魚市場出れば一ぱいうろこ雲
 町田 やす

バス乗り場北風にふかれて一人立つ
 二見 淑子

老いて知る子らの遠さよつわの花
 内田ちどり

～人権について、考えてみましょう。～

人権啓発シリーズ 11

【性的少数者と人権】

性同一性障がいとは、生物学的な性『からだの性』と性の自己認識『こころの性』が一致しない状態をさします。性同一性障がいのある人々は、自分の『こころの性』と『からだの性』が一致しないことにより、社会生活に支障が生じます。

日本では、日本精神神経学会がまとめたガイドラインに基づいて、診断と治療が行われており、性別適合手術をはじめ、性同一性障がいのある人々に対する治療は、正当な医療行為として認知されています。こうした治療を受け性別適合手術、さらに戸籍上の性別の変更に及ぶ人もいますし、そうでない人もたくさんいます。性同一性障がい者の数は、各国の統計からおよそ男性3万人に1人、女性10万人に1人の割合で存在するといわれ、日本では2,200人～7,000人程度の性同一性障がい者が存在するとされています。

性的指向とは、人の性愛がどのような対象に向かうのかを示す概念を言います。具体的には、性愛の対象が異性に向かう異性愛、同性に向かう同性愛、男女両方に向かう両性愛を指します。

同性愛者、両性愛者の人々は少数派であるがために正常と思われず、根強い偏見と差別から、社会生活のさまざまな面で人権にかかわる問題が発生しています。差別や偏見をなくし、理解を深めることが必要です。